

～日本の棚田百選～

400年の歴史を継ぐ 坂折棚田オーナー募集

日本人が長きに渡って、知恵をしばり、汗をかいて築き上げた石積みが美しい『坂折棚田』。現存する数少ない石積みの棚田で、稲づくり体験をしませんか。

坂折棚田は、江戸時代初期からつくられた400年の歴史がある棚田です。

峠を越えてやってきた兄弟が、この坂折の美しい景色に惚れ、ここで稲づくりを始めたのが始まりです。この急傾斜な土地に田を作るには、耕作面積を増やし、崩壊を防止するため、石積みの技術が必要でした。名古屋城の石垣を築いた石工集団「黒鋤(くろくわ)」と呼ばれた職人たちによって美しい石積みが造られたと言われています。

石垣は30年～50年で崩れやすくなるため、石垣を補修する「田なおし」を繰り返し、守り継がれてきました。しかし、その技術を伝承する職人が少なくなり、昔はたくさんあった石積みの棚田がどんどん少なくなっています。

坂折棚田では、祖先の人々が苦勞しながら切り拓いてくれた棚田を残すため、農業の大規模化を行わず、できるだけ昔のままの景観を残す努力をしてきました。しかし、過疎化・高齢化が進み、活動資金や労力の不足もあって、日本の原風景といわれる美しい景観や保水や防災などの棚田の機能を維持していくことが困難なのが実情です。

この美しい景観や先祖の知恵や技術を誇りに思っており、未来に残していきたいと棚田オーナー制度を行っています。皆さんの参加をお待ちしています。



この素晴らしい景観の中での農作業は、明日へのエネルギー源となり、すがすがしい気分になります。

【棚田オーナー制度の概要】

坂折棚田に約100㎡の田を借りて、田植え・田の草取り・稲刈りなどの米作りを体験できます。

水の管理・草刈りなどの日常作業は保存会で行いますので、お気軽にご参加いただけます。

坂折棚田がある岐阜県恵那市中野方町は、海のない山間地で昼夜の温度差は20度前後。この寒暖差と坂折川の清らかな水がおいしい米を育てます。

10月には、おいしい坂折棚田米20kgをお渡しします。詳しくは裏面をご覧ください

2025年度 坂折棚田オーナー募集要項

募集区画	80区画(1区画 約100㎡)
コース区分と年会費	1区画コース 35,000円 5人位 ご家族などにおすすめ 3区画コース 100,000円 会社・団体などにおすすめ お一人様コース 12,000円 1/3区画 約33㎡
内容	年3回3作業と収穫祭(田植え・草取り・稲刈り)
作業日	田植え 5月24・25日、草取り 6月下旬または7月上旬、稲刈り 9月27・28日 収穫祭 10月19日を予定しています。 ※作業日は、後日決定日をお知らせします。また天候により、作業日が変更になったり中止したりすることがあります。
特典	*坂折棚田米 玄米20kg(お一人様コースは7kg、3区画コースは60kg) *旬の農作物ギフト *恵那市や坂折棚田のイベント情報の案内など
作業要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業は基本的に手作業で、田植え・田の草取り・稲刈りを行っていただきます。 ・ 作業日に都合が合わない場合は、保存会で作業しますが、別途料金をいただく場合がございます。 ・ 原則として農薬は除草剤を1回だけ散布します。 ・ 2~3組で田んぼ1枚を共同で作業していただくこともあります
応募資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ 田んぼに親しみ稲を作る意欲がある人 ・ 美しい自然と共生できる人 ・ 里山の暮らしを体感したい人 ・ 「坂折棚田」の保全に共感できる人
申込方法	申込用紙に必要事項を記載の上、FAXまたはメールにて応募先にお申込みください。 坂折棚田ホームページの応募フォームからも申込みできます。 申し込まれた方へは、4月頃オーナー年会費の振込先等をご連絡します。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 途中でオーナーを辞めた場合、会費の返還及び特典は付加できませんので予めご了承ください。 ・ オーナーとなられた方は、それぞれの取り組みで坂折棚田をサポートしていただける、よき協力者と考えております。お客様としてのおもてなしはできませんのでご了承ください。

応募先・お問い合わせ先 NPO法人 恵那市坂折棚田保存会
〒509-8231 岐阜県恵那市中野方町782-1
Tel/Fax:0573-23-2032 携帯:080-1553-0315
e-mail: info@sakaori-tanada.com